



Designed by Freepik

研究者向けソーシャルメディアサービスの可能性

第3回 SPARC Japanセミナー 2015

概要説明

学術情報プラットフォームにおける 伝統とイノベーション

- **学術情報の円滑な流通を可能にする機能を持ったサービス**
- **伝統的プラットフォーム**
 - 査読制学術雑誌
 - 大手国際商業出版社・学協会
 - サービスポータル：電子ジャーナル（SD, Wiley, Springer）
 - アクセスプラットフォーム：抄録索引DB（WoS等）
 - 端末プラットフォーム：PDF

学術情報プラットフォームにおける 伝統とイノベーション

- **イノベータータイプなプラットフォーム**
 - ベンチャー, Start-upsなど
 - サービスポータル：研究者向けSNS
 - アクセスプラットフォーム：Google Scholar
 - 端末プラットフォーム：ReadCube

Jeroen Bosman(ユトレヒト大学図書館)

学術コミュニケーションにおける緩やかな変革と
図書館の役割

坂東慶太 (Coordinator for the Online Platform for Scientific Communication)

研究者向けソーシャル・ネットワーク・サービスの概説

鳥海不二夫 (東京大学大学院)

研究用SNSの利用：ResearchGate

垂井淳 (電気通信大学大学院)

ブログは研究に役立つか？どのように？

(敬称略)

パネルディスカッション

- **モデレーター**

- 林和弘 (NISTEP)

- **パネラー**

- 登壇者+三根

- **テーマ**

- ソーシャルメディアサービスの可能性
- 利害関係者の役割
- より効率的・オープンな学術コミュニケーションに向けて何ができるのか？